

保谷二小 研究便り

令和7年 10月 1日
西東京市立保谷第二小学校
校長 齊藤 境栄
研究推進部

研究主題 児童の思考力が向上する指導法の研究

令和7年度は、研究主題に「児童の思考力が向上する指導法の研究」を掲げ、研究を進めていきます。児童に問題解決の過程を繰り返し経験させ、考える時間を十分に保障することで、思考力が向上できるような授業の在り方を考えていきます。教員も研究授業やその後の協議会で思考力について思考し、授業力の向上を目指していきます。

～第1回研究授業 9月 24日(水)～ 2年1組 算数科 「ひっさんのしかたを考えよう」

本時は、2、3位数の加減の筆算の定着を確認すること、そして数学的な見方・考え方を振り返り、価値づけることができることを目標に授業を行いました。



算数の練習問題「たしかめよう」では、子どもが「赤ペンをもった先生」となり、丸つけやヒントを出し合う活動を取り入れています。答えを直接教えるのではなく、考え方のヒントを伝えることで、子どもたちは楽しみながら意欲的に取り組んでいました。

学習の中で、児童の思考力を6項目(幅、速さ、時間、量、深さ、刺激)の観点から、観察していきます。



協議会では、教員が3つのグループに分かれ、子どもの「思考」について、協議しました。子どもたちがどの場面で思考していたか、思考を深めるためにはどのような取り組みが必要かを検討する際には、大きなマップを使い、思考力の観点がどのようにつながっているのかを枝分かれさせて整理しました。思考の捉え方は人それぞれであることを共有し、必要な支援や指導について確認することができました。